

III 本市の観光の将来像

1 観光地域づくりの目指す姿

本市では、第5次防府市総合計画において、以下のとおり、基本目標を掲げています。

「明るく 豊かで 健やかな 防府」の実現

本市は、豊かな自然に恵まれ、古くから政治・文化・産業など様々な面で発展してきました。昭和38年には、「明るいまちにいたしましょう 豊かなまちにいたしましょう 健やかなまちにいたしましょう」という「防府市民の誓い」が制定されており、「平成」を経て「令和」を迎えた現在も変わることはない普遍的な想いとなっています。はるか昔から脈々と受け継いできたこの本市を守り、育て、次世代に引き継いでいかなければなりません。

本市は、多様性に満ちた地域資源を豊富に有しています。第5次防府市総合計画の基本目標を実現していくために、以下のとおり、観光地域づくりの目指す姿を掲げ、観光振興を図り、地域経済の活性化を実現し、さらに、観光地域づくりを通じて、市民にとっても住みやすい環境を作ること、また、地域の魅力を市民が再認識し、本市への誇りを高めることを目指します。

[観光地域づくりの目指す姿]

多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される、
「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ

本市にある多様な資源は当たり前のように存在していますが、実は素晴らしい地域の「宝」です。市民や観光客がその「宝」に出会い、「宝」の価値を再認識し、みんなで受け継ぎ、磨くことで、これまで以上に「宝」を輝かせることができます。

多くの人がその「宝」に魅了されることで、防府市を訪ねたくなり、防府市のこと好きになり、市民は防府市に住み続けていたい、そして市外の方も防府市に住みたくなることを目指します。

<それぞれの立場での将来イメージ>



観光客

観光客は、防府天満宮へお参りに来ます。そして、防府市の魅力に気付きます。みな、居心地の良い地域に心躍らせ、防府市のこと、良いまちだなど思いながら、防府市ならではの感動体験と交流を楽しんでいます。何回も防府市を訪れることで、防府市に住んでみたいと思うようになり、移住する人もうまれつつあります。



事業者・団体

事業者・団体は、それぞれ独自の魅力を創出し、安定的に観光収入を得て、活気のある取組を推進しています。そして、それらが連携し、誇りと責任ある産業体を形成し、防府市で活動しているメリットを受け、新たな取組を考えている人たちが自然と集まる環境となっています。



市民

市民は、地域の魅力を理解し、観光から社会的・経済的なメリットを最大限享受し、観光地域づくりの取組への価値を認め、積極的に観光地域づくりに参画しています。そして、防府市に住んでいてよかったですと誇りと愛着を抱き、住み続けています。

2 本市を構成する要素(Key Value)

我が国は、自然・文化・気候・食という観光振興に必要な4つの条件を兼ね備えた、世界でも数少ない国の一いつであり、これらの豊富な観光資源を真に開花させることで、観光を我が国の基幹産業へと成長させ、「観光先進国」になるという新たな挑戦に取り組んでいます。

本市には山・海・川・平野が織りなす多彩な「自然」に培われた文化があり、瀬戸内海地域の政治・経済の中枢であり続けてきた「歴史」があります。さらに、こうした環境のもと、人々の生活の中で「スポーツ」をはじめ、地域に生まれ根付いた活動や、各時代の志向にあわせて形づくられた豊かな「生活文化」が市内各地に継承されています。

これらの特性が感じられる地域資源を豊富に有していることこそ、本市の最大の価値だと考えます。『多様性のある資源』を構成する要素として、「自然」「歴史」「スポーツ」「生活文化」を分析し、時間と空間を軸に紡ぎ出すことで地域に宿る価値の体系を理解することができます。また、これらの魅力を市内外へ発信することで、本市が理想とするまちを実現することができます。

多様性のある資源



本市は、山口県央部に位置し、県下最大の広い平野を有しており、瀬戸内海、市内中心を流れる一級河川「佐波川」、中国山地に連なる山々に囲まれた自然の宝庫です。また、瀬戸内海国立公園に含まれる美しい海に囲まれた野島を有し、手付かずの自然が残っています。市内で一年中自然の美しさを感じることができます。

- ・大平山、右田ヶ岳、天神山、桑山などの山
 - ・富海や野島などの海
 - ・佐波川
 - ・田園風景
 - ・鰐をはじめとする海の幸
 - ・ちくわや蒲鉾などの加工品
- など



日本の歴史に初めて防府地域が登場したのは、日本書記に示されている『周防姿摩の浦』(諸説あり)です。飛鳥時代に、防府市国衙に周防国の国府が置かれ、永く栄えてきました。その後、周防国分寺、防府天満宮等といった形で様々な歴史が刻まれ、現在でも本市の魅力を示す文化財として体感することができます。

- ・防府天満宮、周防国分寺
 - ・毛利氏庭園等の名勝
 - ・周防国衙跡等の史跡
 - ・月の桂の庭
 - ・その他、文化財や国宝
 - ・祭礼
- など



人々の生活の中で、地域に生まれ根付いた活動が様々あります。マラソンや競輪などのスポーツは、そのひとつです。本市では、人と人がスポーツによりつながり、地域内外での交流も生んできました。このことからスポーツは本市の貴重な資産であるとともに、将来の地域社会の向上発展のために重要な要素です。

- ・防府読売マラソン大会
 - ・防府競輪場
 - ・佐波川サイクリングロード
 - ・レノファ山口 U-18
 - ・ソルトアリーナ防府等のスポーツ施設
- など



山・海・川・平野等が織りなす多彩な環境を有し、そこで様々な生活文化が培われ、瀬戸内地域の政治・経済の中枢であり続け、今まで全国規模でその影響を及ぼしてきたところです。これまで蓄積されてきた生活文化は、時代に合わせて変化・アレンジされながら受け継がれてきましたが、その本質的価値は変わらず、多くの人の中に継承され続けています。

- ・萩往還が育んだまち並みと商業文化
- ・天満宮の門前町として発達した表参道商店街
- ・寺社にまつわる伝統文化
- ・藍染や錆物、和装などの新たな文化
- ・街道が生み出した醸造文化
- ・鍋-1グランプリ等の新たなグルメイベント
- ・外郎などの和菓子、どぶろく
- ・ほうふ玉子かけごはんなど

3 本計画の目標フレーム

本計画では、各取組を実効的に推進し、その効果を検証するため、目標指標を設定します。計画期間の最終年度である2025年度を目標年度として、目標値を以下のとおり設定します。

これらの指標については基本的に毎年検証を行い、施策評価を行うとともに、その結果を踏まえ、施策の見直し等を行っていきます。

[重要目標達成指標(Key Goal Indicator)]

指標	現在値	目標値(2025年)
①市民の重要度(観光振興)	1.20 ポイント (2019年)	1.50 ポイント
②観光客の満足度	1.34 ポイント (2020年)	2.00 ポイント

<算出方法>

- ①総合計画の見直しに関する市民アンケート調査にて把握 <{「重要である」×2+「どちらかというと重要である」×1+「どちらかというと重要ではない」×(-1)+「重要ではない」×(-2)}/「わからない」「無回答」を除く有効回答者数>
②WEBアンケート調査にて把握 <{「大変満足」×3+「満足」×2+「やや満足」×1+「やや不満」×(-1)+「不満」×(-2)}+「大変不満」×(-3) / 「どちらでもない」「体験していない」を除く有効回答者数>

[重要業績評価指標(Key Performance Indicator)]

指標	現在値	目標値(2025年)
①認知度向上	439位(2019年)	300位以内
②観光入込客数	2,397,000人(2019年)	3,000,000人
③一人当たりの観光消費額	5,722円(2020年)	10,000円

<算出方法>

- ①地域ブランド調査(ブランド総合研究所)の「認知度」にて把握
②防府市で実施している調査にて把握
③WEBアンケート調査にて把握

